



ご自由にお取りください

# 輪

生きるをささえる

vol. 97  
2025.8

「特集」

神経内分泌腫瘍

に対する新たな治療法

診療支援部 ◆ がんばっています！

内分泌代謝・糖尿病内科	部長	松村 祐介
内分泌代謝・糖尿病内科	レジデント	赤松 志保
内分泌代謝・糖尿病内科	レジデント	豊川 絢子
呼吸器内科	レジデント	前原 ひとみ
消化器内科	レジデント	小玉 将義
循環器内科	部長	永田 拓也
循環器内科	部長	増永 智哉
外科	副院長	西原 一善
外科	科部長	竜口 崇明
外科	科部長	新川 智彦
外科	科部長	長尾 晋次郎
外科	科副部長	重松 慶一
外科	科	臨床フェロー 松岡 俊
外科	科	レジデント 吉竹 亨介
整形外科	副部長	八木 宏樹
整形外科	レジデント	高見 章久
脳神経外科	主任部長	塚本 春寿
呼吸器外科	部長	波呂 祥
小児外科	副部長	松岡 史生
皮膚科	副部長	井上 慶一
皮膚科	レジデント	鈴木 裕美佳
泌尿器科	部長	永富 裕子
泌尿器科	レジデント	前川 博紀

産婦人科	部長	森田 葵
産婦人科	副部長	永井 亜佑実
産婦人科	副部長	中島 奈津実
産婦人科	副部長	中島 寛康
産婦人科	レジデント	中野 幸太
産婦人科	レジデント	得居 広葉
産婦人科	レジデント	是澤 魁仁
耳鼻咽喉科	副部長	浦辺 大志
放射線科	副院長	渡辺 秀幸
放射線科	科部長	高木 勝弘
放射線科	副部長	安部 時子
放射線科	レジデント	田原 健三郎
放射線科	科部長	大島 健史
病理診断科	副部長	檜原 直起
内科	科	研修医 大本 直輝
内科	科	研修医 片岡 綾乃
内科	科	研修医 本間 公貴
内科	科	研修医 水野 泰智
内科	科	研修医 盆野 陽子
内科	科	研修医 兼安 亜侑
内科	科	研修医 菅 杏奈
内科	科	研修医 林田 有紀彦

※令和7年3月31日付で退職となりました。大変お世話になりました。

## 標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肛門外科	整形外科	小児外科	放射線科
肝臓内科	消化器内科	外科	肝臓外科	形成外科	皮膚科	病理診断科
血液内科	循環器内科	消化器外科	胆のう外科	リハビリテーション科	泌尿器科	救急科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	痔臓外科	脳神経外科	産婦人科	麻酔科
診療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	食道外科	呼吸器外科	眼科	歯科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	胃腸外科	心血管外科	耳鼻咽喉科	

### 基本理念

わたしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

### 基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます
7. 職員が誇りを持ち、安心して働ける職場環境をつくります

### 編集後記

広報誌「輪」編集長 沼口 宏太郎

新年度を迎え、病院内には新規入職者や異動職員の新しい風が吹き、まるで木々が芽吹くように活気づいています。

今号では、様々な職種と連携して日常診療を支える診療支援部に焦点を当ててご紹介しました。少しでも関心を持っていただければ幸いです。

また、知ることは健康への第一歩、新しい風となります。市民公開講座へのご参加や出前講座のご活用も、ぜひお気軽にお声がけください。



発行日：2025年8月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構  
**北九州市立医療センター**  
 〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号  
 TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693  
 外来予約センター 093-533-8640  
 [月～金 9:00～16:30]紹介状または二次検診初診受付  
 ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>



ホームページ



Facebook



Instagram



X

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

# 神経内分泌腫瘍

## に対する新たな治療法

私は消化器疾患のうち胆膵疾患を専門としており、良性疾患から悪性疾患まで幅広く、また診断から治療までの診療に従事しております。今回、神経内分泌腫瘍(NEN)に対する新規治療法として登場したPRRT(ペプチド受容体放射性核種療法)についてご紹介いたします。なお、当院は2025年4月より北九州地区で初めてPRRTが施行可能な施設となっております。

私がお答えします!



北九州市立医療センター  
消化器内科 部長  
**舩岡 真之**  
(ひじおか まさゆき)

### 神経内分泌腫瘍(NEN)とは

NENは、ホルモンやペプチドを分泌する神経内分泌細胞に由来する腫瘍の総称であり、膵や消化管を含めて全身の臓器から発生すると言われています。

最新の疫学調査<sup>1)</sup>では、10万人あたりの年間新規発症数は、膵が0.70人、消化管が2.84人であり、希少疾患に当たります。人口約90万人の北九州市に当てはめると、膵が6.3人、消化管が25.6人となり、いかに稀な疾患であるかが、お分かりいただけるかと思えます。当院で過去5年間に診療したNENの症例は、他の臓器も含めて全体で109例でした(図1)。

NEN(特に高分化型の代表的な特徴にソマトスタチン受容体(SSTR)を発現していることが挙げられます。PRRTはこのSSTRを介して作用する治療法であるため、PRRTの適応を判断する上で、ソマトスタチン受容体シンチグラフィ(SRS)・NENの診断

のSSTRを介して腫瘍細胞内に取り込まれ、細胞内からベータ線を照射します。これにより腫瘍細胞のDNA損傷を引き起こし、細胞増殖抑制効果を発揮します(図2)。

### PRRT治療の実際

ルタテラ<sup>®</sup>の投与は8週間隔で4回投与を

図2：ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)

・神経内分泌腫瘍にあるソマトスタチン受容体に親和性の高いソマトスタチンアナログに放射性同位元素(<sup>177</sup>Lu)を結合させた薬剤(ルテチウムオキソドトロチド)を投与し、体内から放射線照射する治療法。

静的となる細胞を傷害(ベータ線の射程は最大約2.2mm、隣接する正常細胞への影響は限定的)

ソマトスタチン受容体(SSTR)の存在を確認しておくことが必要。

図3：PRRT治療の実際

ルテチウムオキソドトロチド(<sup>177</sup>Lu)として1回7.4GBqを30分かけて8週間隔で4回点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量する。

投与後は特別措置病室での待機(1-2日)が必要。

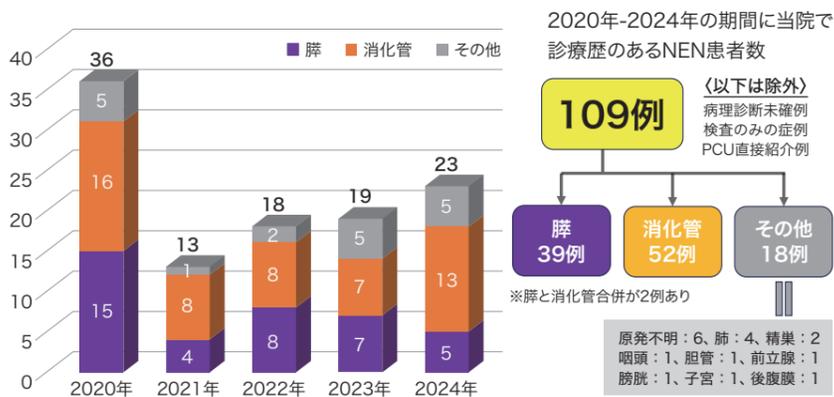
本剤投与 30分前よりリシン/アルギニン含有輸液1,000mLを4時間かけて点滴静注する(リシン/アルギニン含有輸液 投与開始前に、制吐剤を投与しておく)

に用いられる画像診断技術)でSSTRが発現していることを確認する必要があります。

### ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)とは

PRRTは、放射線同位元素を体内に投

図1：当院におけるNEN診療の現状



行うことが基本となり、約6ヶ月の治療期間になります。ルタテラ<sup>®</sup>の投与後は患者さんからでる放射線量を測定し、基準値を下回るまで(多くの方は1-2日程度)、放射線を適切に管理できる病室(特別措置病室)に滞在する必要があります(図3)。

### PRRTが有効であった症例

実際にPRRT治療を行い、奏功した症例(他施設の症例)を提示します。膵NETで原発巣を切除し、肝転移再発に対して切除を繰り返す、その後薬物療法を行ってきた患者さんです。SRSで肝転移と骨転移に異常集積を認めています(図4)。この患者さんにPRRTを行ったところ、肝転移はCT上経時的に縮小を確認し、骨転移もSRSでの異常集積が減弱しており、PRRTの治療効果が確認されました(図5)。

### PRRTの適応となるのはどのような症例か?

NENはさまざまな観点から分類され、その一つに増速能を反映したKi-67指数によるWHO分類があります。これにより高分化型の症例ではNET G1/G2/G3と分類され、G(Grade)の数値が高くなるにつれて悪性度が高くなります<sup>2)</sup>。

知って得する

病院のかかり方

# 「マイナ保険証」のご利用を推進しています

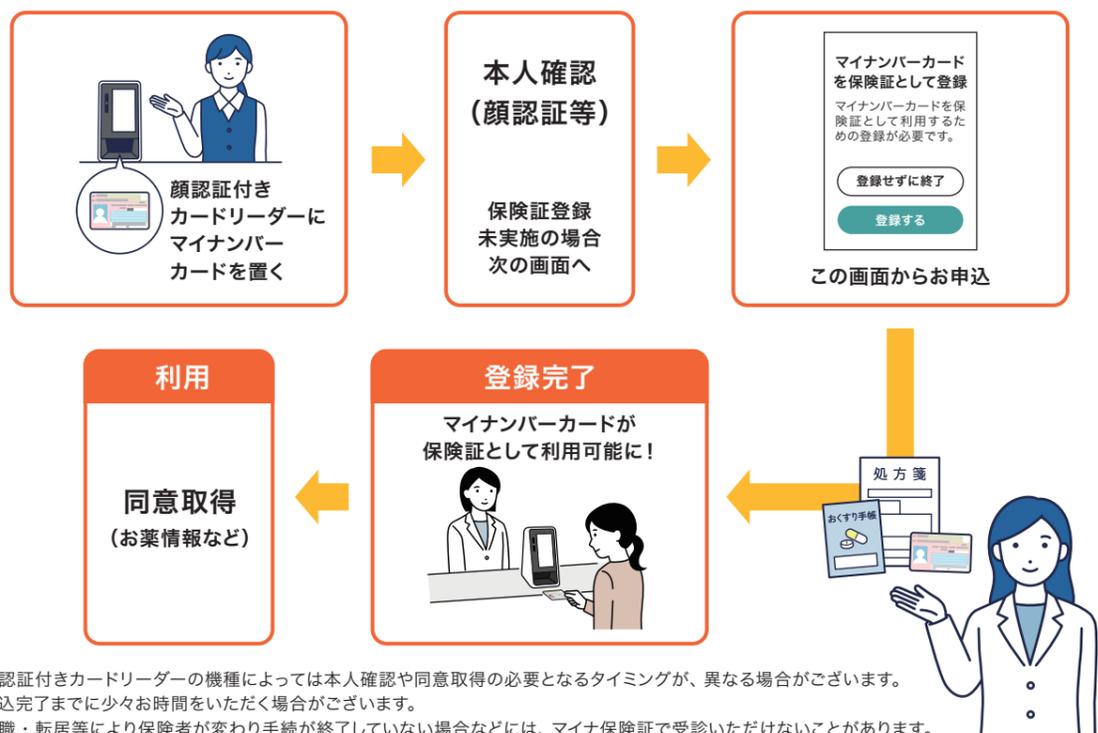
2024年12月2日以降、従来の健康保険証は新たに発行されなくなりました。  
 当院では、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる「マイナ保険証」に対応しています。  
 全国のマイナ保険証の利用率は29.30%（2025年5月時点）で、当院は45%まで利用率が上がりました！  
 より便利なマイナ保険証をぜひご利用ください。

## マイナ保険証を使うとこんなに便利！

- POINT 01 医療の質向上**  
薬の飲み合わせや重複投薬の防止に役立ちます
- POINT 02 限度額適用認定証が不要**  
高額療養費制度の限度額を超える支払いが不要になります
- POINT 03 引っ越し、転職時も便利**  
保険証の切り替えが不要で継続して利用が可能です
- POINT 04 マイナポータルで情報確認**  
検診結果や医療費の履歴をオンラインで確認できます

## ご利用方法

院内に設置されたカードリーダーにマイナンバーカードをかざすだけで、簡単にご利用いただけます。



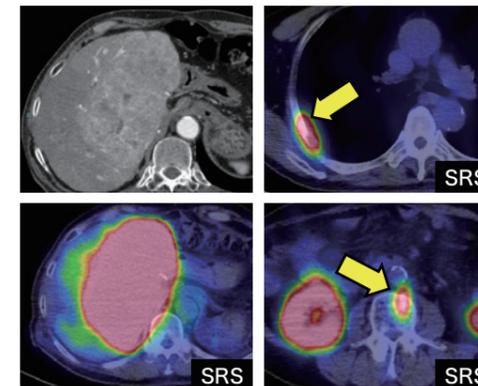
※顔認証付きカードリーダーの機種によっては本人確認や同意取得の必要となるタイミングが、異なる場合がございます。  
 ※申込完了までに少々お時間をいただく場合がございます。  
 ※転職・転居等により保険者が変わり手続が終了していない場合などには、マイナ保険証で受診いただけないことがあります。

図4：症例(76歳・男性)

膵NET G2、Ki-67 index 5%  
多発肝・骨転移

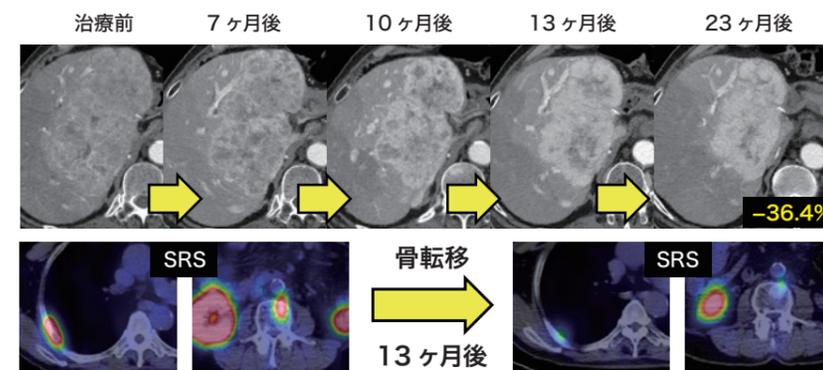
【治療歴】

2003年：膵体尾部切除  
 2008年：肝転移再発→切除  
 2011年：肝転移再発→切除  
 2012年：肝転移再発  
     →Everolimus開始  
 2017年：Sunitinib開始→不耐  
 2018年：STZ+5FU療法→不耐  
 2019年：Lanreotideのみ  
 2022年：PRRT導入へ



九州大学病院 肝臓膵臓胆道内科 植田圭二郎先生より提供

図5：症例(76歳・男性)



九州大学病院 肝臓膵臓胆道内科 植田圭二郎先生より提供

膵・消化管神経内分泌腫瘍診療ガイドライン第2版(最新の改訂版)では、「PRRTはソマトスタチン受容体陽性の膵・消化管原発のNET G2 (Ki-67指数 $\geq 10\%$ )およびG3症例に対しては、初回治療からの施行が

推奨される。二次治療以降であれば、NET G1及びG2 (Ki-67指数 $< 10\%$ )症例でも行うことを考慮してよい」と記載されています<sup>3)</sup>。すなわち、病理学的にNENと診断がついたすべての症例(切除不能症例)に

Doctor Profile

脇岡 真之

専門医等

- ・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- ・日本消化器病学会専門医・指導医・九州支部評議員
- ・日本消化器内視鏡学会専門医・九州支部評議員
- ・日本膵臓学会認定指導医
- ・日本胆道学会認定指導医

学会関係

- ・日本内科学会
- ・日本消化器病学会
- ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本膵臓学会
- ・日本胆道学会

1) Masui T, et al. BMC Cancer. 2020 20(1):1104  
 2) Nagtegaal ID, et al. Histopathology. 2020 Jan;76(2):182-188  
 3) 膵・消化管NEN診療ガイドライン第2版  
 改訂版 日本神経内分泌腫瘍研究会(JNETS)ホームページ

PRRTの登場により、NEN診療は大きく変わりつつあります。特に高分化型のNEN症例(切除不能例)では、早い段階からのSRSの評価及びPRRTの適応を検討することがより重要となってきます。PRRTの適応と考えられる症例がございましたら、ぜひ当院までご相談ください。

**おわりに**  
 PRRTの登場により、NEN診療は大きく変わりつつあります。特に高分化型のNEN症例(切除不能例)では、早い段階からのSRSの評価及びPRRTの適応を検討することがより重要となってきます。PRRTの適応と考えられる症例がございましたら、ぜひ当院までご相談ください。

おいて、SRSでの早期の評価を行い、早い段階でのPRRTを考慮することが重要となってきます。治療適応外となるのは、肝機能・腎機能・骨髄機能が低下している場合やADLが低下している(排尿管理が自身で行えない)場合、などが挙げられます。

令和7年度

# 新任医師の

# ご紹介



泌尿器科  
原口 裕介  
(はらくち ゆうすけ)



呼吸器外科  
松堂 響人  
(まつどう きょうと)



脳神経外科  
井上 大輔  
(いのうえ だいすけ)



整形外科  
宮崎 真太郎  
(みやざき しんたろう)



消化器内科  
平畠 啓介  
(ひらはた けいすけ)



内分泌代謝・糖尿病内科  
松本 伊織  
(まつもと いおり)



内分泌代謝・糖尿病内科  
寺田 英李子  
(てらだ えりこ)



腫瘍内科  
上原 康輝  
(うえはら こうき)



病理診断科  
間 敬邦  
(はざま ひろくに)



産婦人科  
石田 崇人  
(いしだ たかと)



産婦人科  
堤 桜子  
(つつみ さくらこ)



産婦人科  
大塚 裕一郎  
(おおつか ゆういちろう)



外科  
藤井 昌志  
(ふじい あつし)



外科  
佐伯 潔  
(さえき きよし)



循環器内科  
中島 涼亮  
(なかしま りょうすけ)



消化器内科  
興津 亮太  
(おきつ りょうた)

内分泌代謝・糖尿病内科	井形 公一	いがた こういち
呼吸器内科	瀬戸 隆ノ介	せと りゅうのすけ
循環器内科	甲斐 敬士	かい たかし
外科	松田 諒太	まつだ りょうた
整形外科	山下 道永	やました みちなが
皮膚科	古森 環	こもり たまき
皮膚科	林 実那子	はやし みなこ
泌尿器科	衛藤 希	えとう のぞみ
産婦人科	鐘江 愛	かねがえ あい
産婦人科	中野 幸太	なかの こうた
産婦人科	廣瀬 陽俊	ひろせ ようしゅん
耳鼻咽喉科	樽谷 勇	たるたに ゆう
放射線科	古賀 夕貴子	こが ゆきこ



麻酔科  
水野 泰智  
(みずの たいち)



外科  
眞鍋 泰奈  
(まなべ やすな)



外科  
久保 顕博  
(くぼ あきひろ)



外科  
阿部 礼真  
(あべ のりまさ)



外科  
畑 大夢  
(はた ひろむ)

悩みや不安にお応えします！  
お気軽にご相談ください。



今年度より着任しました。

よろしくお願いします。

# 診療支援部ががんばっています！



## 放射線技術課



主任  
診療放射線技師育成担当係長  
令和6年度公衆衛生事業功労者表彰  
一般社団法人日本公衆衛生協会

この表彰は地域の中で地道に公衆衛生の活動を続けてきた方々に対して「公衆衛生事業功労者」として表されるもので、長年、福岡県乳がん検診事業の体制整備に携わってきたことから、昨年度、公益法人福岡県診療放射線技師会の推薦によりこの表彰を受けることができました。

具体的な活動としては、福岡県独自の乳がん検診マンモグラフィ画像評価システムを立ち上げ、マンモグラフィ画像の精度を向上させたこと、検診マンモグラフィ撮影技術認定の講師として診療放射線技師の育成に貢献できたことです。

今後、乳がん死亡率低減に向けて精度の高い乳がん検診が実施できる体制作りに微力ながら取り組んでいきたいと思っております。



## 薬剤課



主任  
一般社団法人日本医療薬学会認定  
がん専門薬剤師

がん専門薬剤師とは、がん薬物療法に関する高度な知識・技術や臨床経験を有する薬剤師に認定される資格です。学会認定の研修施設にて5年以上の研修、学術大会や集中教育講座への参加、研究活動と学会発表、50症例の報告等の様々な課題をクリアし、認定試験に合格する必要があります。

学会発表の準備や症例報告など、日々の業務との両立がとても大変でしたが、先生方の指導や先輩方の力を借りて無事試験に合格することができました。

がん治療を行っている皆様の疑問や不安を少しでも取り除き、安心安全な薬物療法に貢献できるように精一杯務めてまいります。



主任  
一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会認定  
外来がん治療認定薬剤師

外来がん治療認定薬剤師は、がん治療に関する専門的な知識が求められる認定資格です。症例審査、筆記、面接試験を合格する必要があります。合格率も50%程度と決して高くない資格です。覚えたことを紙に書き起こせるまで繰り返し勉強し、4月に認定を受けることができました。

がん治療は日々進化しており、薬剤師も常に最新の知識を身につけていくことが大切です。まだまだ未熟者ですが、一人ひとりの患者さんに寄り添い、安心して治療が継続できるように、これからも研鑽を積み頑張っていきたいと思っております。

## 臨床検査技術課



主任  
英語論文誌  
Radiological Physics and Technology掲載

この度、私たちの研究論文「Evaluation of femoral bone mineral density in patients with hip osteoarthritis using material density image in dual-energy computed tomography」が、英語論文誌「Radiological Physics and Technology」に受理されました。

本研究は、先日韓国で開催されたミチュホル国際学術大会でも発表した内容です。本研究では、CT検査においてDualEnergy CTという特別な撮影法で得られた画像を用いた大腿骨の骨密度評価について報告しました。現状、まだ臨床での実用化には至っていませんが、今後も研究を重ね、患者さんのために一日も早い臨床導入を目指します。



## 放射線技術課



副臨床検査技師長  
一般社団法人日本検査血液学会認定  
認定骨髄検査技師

認定骨髄検査技師は、専門知識や細胞認識能力を基に、主要な血液疾患の形態診断と主治医へ報告できる資質と血液疾患の診断に必要な骨髄所見を高い精度で判定し、追加検査選択・結果解釈を行い、診断医と協調して形態検査報告書が作成できる資質が求められます。

福岡県内の有資格者は十数名です。口頭試問・プレセッション能力試験では、症例のプレゼンと並行して質疑応答を行います。血液検査領域ではコミュニケーション能力も必要のため、積極的に学会や研修会に参加して研鑽を積みました。臨床検査技師は、正確で迅速かつ、付加価値のある検査結果を報告することが重要です。

今後、一般検査分野での資格取得を目指して資質向上を図り、引き続き自己研鑽に努めていきたいと思っております。



## リハビリテーション技術課



副理学療法士長  
公益社団法人日本理学療法士協会認定  
運動器認定理学療法士

運動器認定理学療法士は、運動器(骨・筋肉・靭帯など)の専門分野に対する、高い知識と技術を持ったリハビリのスペシャリストです。登録理学療法士取得後、専門的カリキュラムを受講し、試験を受け、運動器の治療に特化した理学療法士として認定されます。

骨折や靭帯損傷で生じる痛みや機能障害に対し、高度なアプローチにより運動器の機能回復を促し、社会復帰やスポーツ復帰をお手伝いいたします。

これからも患者さんと向き合い、より良い医療、理学療法を提供できるよう、明るく熱く努力していきます。



高橋 由衣 (たかはし ゆい)  
公益社団法人日本糖尿病協会認定  
福岡県糖尿病療養指導士

糖尿病療養として、最適なセルフケアの支援を行えるよう資格取得を目指しました。3回の研修と筆記試験・面接を受け、2025年3月に資格を取得しました。糖尿病療養の基本である食事療法についての知識がより一層深まりました。また、他分野でも薬剤名やその特徴など細かな内容まで理解し覚えることに苦勞しましたが、その知識が日々の業務でも役に立っています。より専門的な正しい知識を基に、糖尿病患者さんの食事療法をサポートしていきたいと思っております。

## 栄養管理課

## 臨床工学課



主任  
一般社団法人日本消化器内視鏡学会認定  
消化器内視鏡認定技師  
一般社団法人日本カプセル内視鏡学会認定  
小腸カプセル内視鏡読影支援技師

昨年に「消化器内視鏡認定技師」、今年度に「小腸カプセル内視鏡読影支援技師」を取得しました。学会参加や実務経験に加え、症例整理や筆記試験など学習と準備が求められる資格です。がんの罹患数では大腸がんや胃がんは上位にあり、消化器のがんは身近な病気です。認定技師としてがんの早期発見、処置を行う内視鏡医療において、高度で安全な医療を提供する責任は大きいと感じます。そのため現在は学会活動や講師として内視鏡医療の価値を広く発信する活動も行っています。今後も一人でも多くの患者さんを救えるような技師を目指していきます。



植屋 健太 (うえやけんた)  
一般社団法人日本消化器内視鏡学会認定  
消化器内視鏡認定技師

内視鏡検査や治療における医師のサポート、機器の管理、患者ケアなど幅広い業務を担当します。資格取得のために必要な講習会や内視鏡学会に参加し、単位を得ることで認定試験を合格することができました。

日々の取り組みでは、学術研鑽にも注力しており、消化器内視鏡技師学会や臨床工学技士学会における学術発表も積極的に取り組んでいます。

内視鏡治療の未来は、技術革新とともにますます精密化・高度化しています。これらの新技術をしっかりとサポートし、患者様の安全を守るために日々の技術の向上と機器の管理に努めていきます。

登録医のご紹介

# 木村内科・呼吸器内科医院

北九州市小倉南区下曾根4-23-28 TEL:093-471-7888



### 診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-
15:00~18:00	●	●	-	●	●	-	-

※水・土曜日は9時~12時30分まで  
昼休みやその他の時間に訪問診療を行っています。



院長 川上 覚 医師

### 当院について

令和6年10月1日より「木村医院」を継承し、「木村内科・呼吸器内科医院」として診療を行っております。前院長木村先生のご協力のもと「風通しのいい診療所」であり続け、皆様から信頼される医院を目指しています。

### 地域の方へ、患者さんへのメッセージ

当院では患者さんの背景や個性を重視し、日常生活とのバランスを考慮して診療方針を決定しております。訪問診療・往診も行っており、在宅緩和ケアなど積極的に取り組んでおります。最期の時間をご自宅でと考えられておられる患者さんにはご相談ください。

# 市民公開講座

6月14日に市民公開講座を行い、44名と多くの方にご参加いただきました。



整形外科医師より「腰痛について」



理学療法士より「腰痛予防のストレッチ」



管理栄養士より「ロコモ予防の食生活」

## 次回は9月20日(土)!! 参加費：無料

【名称】「よく眠れていますか？」～睡眠時無呼吸症候群と最新の治療法を知ろう～

【開催時間】14:00～開場、14:30開演

【内容】講演① 眠りの質が、あなたの「毎日」を変えるー睡眠時無呼吸症候群と治療  
有吉祐睡眠クリニック 院長 有吉 祐 先生

講演② CPAPだけじゃない!新しい治療法ー舌下神経刺激療法ー  
北九州市立医療センター 耳鼻咽喉科主任部長 竹内 寅之進 先生

講演③ 舌下神経刺激療法にて治療されている患者さんの声

【会場】総合保健福祉センター(アシスト21)2階講堂 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

【定員】100名様(先着順)

※事前申し込みが必要です。右のQRよりお申し込みください。



お申し込みはこちら



## information

# ど・こ・で・も 出前講座



お申し込みは  
当院ホームページより  
お願いします。

当院では、地域の皆さまや地元企業さまに対して、医療や健康に関する出前講演を実施しています。リクエストに応じ、医師、認定看護師、薬剤師、管理栄養士等が、会場に向いて講演いたします。市民センター・公民館などでの研修会、各企業さまにおかれましては健康に関する社員向けの研修、セミナーなどを開催される際は、ぜひ当院の出前講座をご活用ください。

### 講演テーマ

当院ホームページをご確認ください。  
また、リクエストにお応えいたしますが、  
内容によってはお受けできない場合があります。

ホームページは  
こちらから



### ご相談・お申込み方法

ホームページに出前講座申込書を掲載しております。記入いただき、メールにてお申し込みください。ご相談はお電話でもお受けしております。

日時・テーマ・講師について調整いたしますが、勤務状況により、お受けできない場合があります。あらかじめご了承ください。



テーマ 目の健康について



テーマ 血圧に関する薬の作用、副作用



テーマ 腰痛・膝痛予防

## SNSのフォローをお願いします!

当院では、各SNS (Instagram・Facebook・YouTube)を通して病院の最新トピックやイベント情報、病気の予防・健康づくりに役立つ情報をお届けしています。

QRコードよりぜひチェックしてください!

フォロー・チャンネル登録もよろしくをお願いします!



Facebook



Instagram



YouTube

